

岐阜新聞真学塾

出題 蜚雪ゼミナール 静里校・佐野敏久

問題【社会】

問 次の①～⑥の問題に答えましょう。

- ①流域面積世界1位の川を何といいますか。
- ②ペルーにある標高2000m以上の山岳地域につくられたインカ帝国の遺跡を何といいますか。
- ③南アメリカ大陸の西側にそびえる山脈を何といいますか。
- ④ヨーロッパ人と先住民の混血の人々を何といいますか。
- ⑤牛などの牧畜と小麦の栽培をしているアルゼンチンの大平原の名前を何といいますか。
- ⑥チリには生産量世界1位の鉱産資源があります。それは何という鉱山資源ですか。

豆知識 雑学コラム

「チリも積もれば…」

今回は南アメリカの問題です。

①アマゾン川付近の森林・密林地帯をセルバと言います。川にはピラニアがおり「ピラニアも暮らせるばしょ…」とセルバを覚えましょう。

②アンデス山脈には高度な文明が発展し15世紀にはインカ帝国が最盛期でした。世界遺産にも登録されているこの遺跡の名前「マチュピチュ」は、5回連続で言ったら頭に残りますよ（笑）覚える基本は声に出して何回も言うことが大切です！



③ウユニ塩湖で有名なボリビアには、世界一標高が高い都市ラパス（標高およそ3600m）があります。ということは富士山（3776m）ほどの高さで生活している…。空気がとても薄いので、走るとすぐに息が切れます。



④16世紀にはスペイン人とポルトガル人によって先住民の国が滅ぼされ、南アメリカの都市は、ヨーロッパ人によって開拓されました。

⑤パンパは、国土の5分の1を占める広大な草原を意味します。パンパでは、牧畜の他、小麦などの栽培もおこなわれています。「アルゼンチン パンパ 小麦」セットで暗記です。「アルパコ」で覚えよう（笑）。

⑥チリは銅の生産量が世界一位です。「チリも積もれば銅となる」。本当は「塵も積もれば山となる」でしたね（笑）。

【解答】

①アマゾン川 ②マチュピチュ ③アンデス山脈 ④メスチソ ⑤パンパ ⑥銅